

環境学習プログラム

令和2年12月
横浜市資源循環局

SDGsについて

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標です。「誰一人取り残さない」「パートナーシップ」といった理念のもと、2030年を期限とする17の目標と169のターゲットが定められました。

SDGsは将来にわたり、あらゆる人が、社会、経済、環境、全ての面での豊かさを受けられる持続可能な世界を目指しています。



資料：国際連合広報センター

はじめに

近年、私たちの生活は便利になる一方で、地球温暖化やプラスチックによる海洋汚染、食品ロスなどが大きな問題となっています。2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）では、国際社会共通の目標として「持続可能な生産消費形態」などが位置付けられており、環境問題は人類共通の課題といえます。

日本においても、記録的な大雨や災害級の猛暑、暖冬など、すでに地球温暖化による気候変動の影響を受けていると考えられ、その脅威は私たちに極めて身近なものとなっています。将来に向けて持続可能な世界としていくためには、私たち一人ひとりが環境の問題を学び、行動することが不可欠です。

このたび、環境への意識の醸成を図ることを目的として、廃棄物分野における「環境学習プログラム」を策定しました。多くの人に環境学習に取り組んでいただくため、様々な世代に学んでいただける構成としています。

未来を担う子どもたちにより良い環境を残すため、教育の場や地域等において積極的にご活用いただければ幸いです。

目次

【世代に合わせた実施プログラム】

保育園・幼稚園 編	．．．．．	1
小学校 編	．．．．．	2
中学校・高校・大学 編	．．．．．	3
地域・事業者 編	．．．．．	4

【講座テーマ】


①食品ロス削減	．．．．．	5
②プラスチック対策	．．．．．	7
③ごみのゆくえ	．．．．．	9
④ごみの分別・リサイクル	．．．．．	11

【ご紹介】

その他、ご案内可能な項目	．．．．．	13
災害時のトイレ対策	．．．．．	14
施設見学のご案内	．．．．．	15
お問合せ・お申込み	．．．．．	19


申込みから開催までの流れ

① テーマを選び内容を定める



講座テーマ（P 5～12）を参考にテーマを選んでください。各講座テーマは、基本プログラムに加えて、選択プログラムも組み合わせて受講することができます。


② 申込み



各区収集事務所（P 19）まで、Eメール、FAX、お電話のいずれかでお申込みください。

お申込みの際は、環境学習申込書（P 20）をお送りいただくか、申込書の内容をEメールの本文やお電話でお知らせいただいても結構です。

③ 打合せ



詳細について、担当者と打合せを行っていただきます。

④ 出前講座の実施

本市職員や外部講師がお伺いして、出前講座を実施します。

※ 「災害時のトイレ対策」・「当局の施設見学」・「外部施設見学」・「外部講師」（P 14～18）に関するお申込みは、環境学習申込書（P 20）は使用せず、直接、各項目の「お問合せ先」までご連絡をお願いいたします。